



2021年度

事業報告書

2021年(令和3年)4月1日から

2022年(令和4年)3月31日まで



学校法人関西学院

2021年度事業報告書の公表にあたって



学校法人 関西学院
理事長 村上一平

2021年度はコロナに明け、コロナに暮れた一年となりましたが、年度末にはロシアによるウクライナ侵攻が発生して、世界は感染症対策やそれに起因した経済環境の悪化に加え、一段と混迷の度を深めております。その中であって関西学院もそれらの影響は避けられず、保健所等の公的機関の機能が事実上マヒ状態になる中、各学校とも授業をはじめ、部活動、各種学校行事において最大限の対策を講じて感染防止に努めました。特に大学においてはPCR検査補助を行うとともに、兵庫医科大学様や上ヶ原病院様のご援助を頂くことで学内にワクチン接種会場を設置し、教職員や大学生だけでなく、近隣住民を対象にしたワクチン接種推進を図りました。

その一方で昨年を引き続き、コロナによる日本経済の停滞に伴う学生・生徒等に対する経済支援のため各種奨学金制度の充実や新設のほか、教科書購入支援、オンライン授業用機器の貸与、コピー費用補助等の手厚い学業支援施策を講じ、実施いたしました。

また学校運営では大学において神戸三田キャンパスの学部を再編し、理系4学部(理学部・工学部・生命環境学部・建築学部)を新設しました。これによって神戸三田キャンパスは総合政策学部と併せ5学部体制となり、施設整備も進めております(2021年度投資額13億円)。

しかしコロナ禍の影響は学内の対面授業や人的交流における制約のほか、留学生の交換等国際化にも大きな影響を及ぼし、日本一を記録した海外協定大学への留学生の派遣、また、受け入れは一時休止せざるを得なくなりました。受け入れ留学生用寮の完備等、受け入れ態勢の充実が図られたところでもあり、残念ではありますが、渡航が認められた暁には一刻も早い再開を期したいと考えております。

以上のような状況の中であって2021年度の就職状況は一部の業種において採用中止や抑制が続きましたが、学生の内定状況は年間を通じて前年度を上回りました。

コロナ禍についてはその収束が未だ見通せない状況ではありますが、中長期計画で計画された種々の案件については状況の変化を織り込みながら可能な限り粛々と進捗させ、関西学院の教育・研究に遅れが生じることのないように体制を整え、努力して参る所存であります。

引き続き本学院の活動にご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

目次

I. 学校法人の概要

1. ミッションとスクールモットー …………… 02
2. 沿革 …………… 02
3. 関西学院が設置する学校・施設 …………… 03
4. 学生・生徒等の状況 …………… 04
5. 教職員の状況 …………… 05
6. 主な運営活動指標等の推移 …………… 06
7. 役員・評議員の状況 …………… 07
8. 組織 …………… 09

II. 事業の概要

1. 関西学院大学の教育研究の概要 …………… 10
2. 学生・生徒等の納付金 …………… 11
3. 中期的な計画及び事業の進捗状況 …………… 12

III. 財務の概要

1. 決算説明 …………… 19
資金収支計算書・事業活動収支計算書・貸借対照表… 24
独立監査人の監査報告書・監事監査報告書… 35
2. 財産目録 …………… 38
3. 財務データ(経年比較) …………… 40

学校法人関西学院 2021年度事業報告書

発行 学校法人関西学院
兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号
2022年5月31日
<https://www.kwansei.ac.jp/>

※本報告書の対象期間は2021年度(令和3年度)ですが、この期間以外の内容も記載しています。